

[ 4月 外来医師一覧表 ]

新/新規患者 再/再来患者

Table with columns for Clinic (診療科), Day (日), and Doctor (医師). Rows include various departments like Plastic Surgery, Nephrology, Cardiology, etc., with specific doctor names and their schedules.

[ サイクル ]

済生会熊本病院 連携広報誌

vol. 114  
2026.April

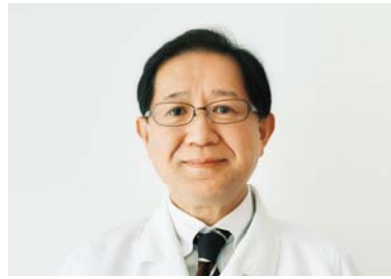
s a i k u r u

明日へつながる、より確かな医療連携をめざして。

ご挨拶  
退任・就任の  
済生会熊本病院



※担当医師は月により変更することがあります。ご了承ください。



医療連携部長  
退任のご挨拶

上杉 英之  
HIDEYUKI UESUGI

皆さまこんにちは。済生会熊本病院の上杉でございます。このたび令和8年3月をもちまして医療連携部長の任を退くこととなりました。思えば就任当初は新型コロナウイルス流行の渦中であり、地域医療が大きな試練に直面する時期でありました。それだけに、多くの医療機関の皆さまとより深い連携を保ち、病院一丸となって何とか乗り越えたことは記憶に新しいところでございます。この5年間、皆さまと共に歩み、支えていただいた日々は私にとりまして何よりの励みであり、深い感謝の念に堪えません。今後も当院が当地の安心に貢献できますよう、引き続きご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。末筆ではございますが、皆さまのご健勝とますますのご発展をお祈り申し上げます。誠にありがとうございました。



総合診療科部長  
退任のご挨拶

具嶋 泰弘  
YASUHIRO GUSHIMA

日頃よりひとかたならぬご厚情を賜り心より感謝申し上げます。このたび3月末日をもちまして総合診療科部長を退任することとなりました。2010年の救急総合診療センター立ち上げに伴い、それまで専門にしていた呼吸器内科を離れ、15年間総合診療科のマネジメントに従事してきました。今後は副院長として地域のみなさまから信頼いただける病院作りに注力してまいります。後任には杉山眞一が就任いたします。新体制となります総合診療科を引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。



総合診療科部長  
就任のご挨拶

杉山 眞一  
SHINICHI SUGIYAMA

平素より医療連携機関の皆様におかれましては、格段のご高配頂きありがとうございます。この度、具嶋先生の後任として総合診療科部長を仰せつかりました杉山眞一と申します。1997年熊本大学医学部第二外科に入学、その後消化器外科学―肝胆膵外科医として20年ほど研鑽を積んだ後、2017年に当院救急総合診療センター総合診療科に赴任、スペシャリストの世界からジェネラリストとして、日々学ばせていただいております。世の価値観も変化する、この超高齢化社会の中、医療自体も複雑にならざるを得ません。我々に求められる複層的な医療、そして多科横断的な役割を果たしていくと同時に、連携機関の皆様とも協働して、地域貢献できるよう、微力ながら尽力たく存じます。今後とも、引き続きご指導いただければ幸いです。何卒よろしく願い申し上げます。



集学的  
がん診療センター長  
退任のご挨拶

菅 守隆  
MORITAKA SUGA

日頃より済生会熊本病院のがん診療にご協力を賜り、誠に有り難うございます。済生会熊本病院のがん診療を総括する組織として2020/04/01に「集学的がん診療センター」を創設しました。この間、2021/04/01には「がんゲノム連携病院」の指定を受け、新しい薬物療法への道を開きました。また、2023/04/01には外来がん薬物療法室を20床から36床へと増設して、安全で快適な治療室での治療が可能となりました。手術では泌尿器、消化器、呼吸器領域のロボット支援手術の件数が全国有数の施設となりました。放射線領域では新しい照射法により安全で負担の少ない治療を行っております。緩和領域では腫瘍精神科を含めた患者、家族支援を行ってきました。これまで皆様方には大変お世話になりました。本年3月をもって退任致しますが、今後とも後任の渡邊紳一郎医師をよろしく願い致します。



集学的  
がん診療センター長  
就任のご挨拶

渡邊 紳一郎  
SHINICHIRO WATANABE

日頃より格別のご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。このたび、集学的がん診療センター長を拝命いたしました。当センターは、総合腫瘍科、集学的治療室、がん総合支援室、運営管理室からなり、菅前センター長のリーダーシップの元、手術・薬物療法・ゲノム医療・放射線治療・緩和ケアなどを多職種のチームで実践して参りました。今後も新規治療をいち早く導入して地域がん診療連携拠点病院としての役割を担い、皆様との連携を一層密にして参る所存です。今後ともご指導、ご鞭撻のほど、よろしく願い申し上げます。



腎臓科部長  
退任のご挨拶

副島 一晃  
KAZUAKI SOEJIMA

この度 2026年3月末日をもって済生会熊本病院を定年退職いたしました。泌尿器科医、そして透析医として三十年以上の長きにわたり診療・教育と少しの研究に携わる機会を与えていただきました。熊本地震やコロナ禍など先が見えにくい困難な状況もありましたが、院内外の御支援・御協力のおかげで今日があることを感謝申し上げます。4月以降は腎臓科特別顧問の役職をいただき、週3日の勤務を継続させていただき、地域医療への貢献と後進の育成に微力ながら尽くしてまいりたいと存じます。これまで御支援、御協力いただいた方々への感謝を申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。



腎臓科部長代行  
就任のご挨拶

早田 学  
MANABU HAYATA

このたび4月1日付で腎臓科部長代行を拝命いたしました。前任の副島部長が築いてきた診療体制と地域連携を大切に引き継ぎ、さらなる発展に努めてまいります。地域の先生方との連携を一層深め、患者さんにとって最適な医療の提供を目指します。今後は透析医療の質の向上に加え、保存期慢性腎臓病の早期発見・早期介入に積極的に取り組み、透析導入の遅延と患者さんの生活の質の維持・向上を図ってまいります。今後ともご指導、ご支援のほどよろしく願い申し上げます。